

I. よく聞く話
「生産計画通りにいかない」「製造リードタイムが長い」「仕掛品の山」

II. フィリピン人スタッフの言い訳
「特急ジョブオーダーが入るから」「あの人が休んだから」「品物がこない」

III. 結果として
計画と実績とのズレが当たり前、現場では天井まで積み上がった仕掛品

IV. どうしてそうなるのか	
生産計画員は正確な現場の数量が分かっていない	不確かなデータで計画
製造ラインが複雑になってしまっている	工程が一目で把握できない
	いたるところに離れ小島が出来ている
ラインマンはなにをいくつ生産するか分からない	カンを頼りに生産
必要数以上の人員がいる	余計な仕事をしている
前工程、後工程のことはおかまいなし	頻繁にラインが止まる

V. では、どうやって工程革新を進めるか		
ムダをなくす	全体最適をめざした流れづくり	
	各所に管理板を置き、計画と実績をズレを常時把握	整理整頓と目で見える管理、工程をよりシンプルに、かんばんによる後工程引っぱり方式へ
	工程内にモノを滞留させない	
かんばんを活用し必要なものを必要な分のみ供給		

VI. 成果目標は？		
製造リードタイム減	原材料および仕掛品の削減	適切な人員配置

VII. 具体的な進め方は？
ハリーコンサルティングサービスフィリピンズ株式会社へ一度お問い合わせください